

～魅惑のバッハの世界へ～

バッハが影響を受けた音楽
彼が生きた時代のバロックダンス
そして家庭でのバッハにスポットを当て
新たな切り口からバッハの世界を探る

バロックヴァイオリン、トラヴェルソ
ヴィオラ・ダ・ガンバによるアンサンブル
ピアノの前身であるチェンバロや
クラヴィコード…
当時を再現した音色にのせて
魅惑のバッハの世界へ

出演 市瀬陽子(バロックダンス)
田原さえ(チェンバロ・ピアノ)
飯塚由美(チェンバロ)
広瀬奈緒(ソプラノ) 他

パロックアンサンブル
飯塚大、広瀬妙子、
大越由美子、桜井孝夫



魅惑のバッハ ～We love Bach～

2008年2月29日(金) 18:30開場
19:00開演

仙台市青年文化センター
交流ホール

一般 3,000円 小学生以下 1,500円
中・高生 2,000円 当日券500円増し

プログラム J.B.リュリ シャコンヌ(オペラ『ファエトン』より)
F.クーピラン メヌエット／ガヴォット(『諸国の人々』より)
J.S.バッハ フランス組曲 第4番 BWV815
イタリア風協奏曲 BWV971
『アンナ・マグダレーナ・バッハの音楽帖』より
『W.F.バッハのクラヴィーア小曲集』より 他

■主催：仙台バッハゼミナール

■助成：財仙台市市民文化事業団 財宮城県文化振興財団

■後援：河北新報社 TBC東北放送 ミヤギテレビ KHB東日本放送

■プレイガイド：ヤマハ、カワイ、藤崎、三越仙台店

■お問い合わせ：022-268-5706 (仙台バッハアカデミー協会・高橋)

魅惑のバッハ ~We love Bach~

仙台バッハゼミナー

Sendai Bach Seminar

J.S.バッハの作品の解釈と演奏研究によりその音楽への理解を深めることを目的として、2001年4月に発足。『平均律クラヴィーア曲集』第Ⅰ巻・第Ⅱ巻の分析を課題とし、3週間に1度のペースで会員が持ち回りでゼミを行っている。現在、第Ⅰ巻について継続的に研究発表会を開催中。代表:田原さえ。

sendai-bach-seminar@mail.goo.ne.jp

Profile



市瀬 陽子(バロックダンス)

Ichise Yoko

立教大学文学部及び東京芸術大学美術学部卒業。15~18世紀のヨーロッパ宮廷舞踏および音楽劇、バレエ作品等について研究し、舞台を制作・上演する。17~18世紀フランスの作品に基づく舞台を中心に、“優雅な宴 les fêtes galantes”(1992/3)、“ひとときの夢 les songes agréables”(1993~99)、“田園のたのしみ la fête dans un parc”(1995)、“les charmes de la vie”(2000)等を発表。上演に際しては、自らダンサーとして出演すると同時に、振付・構成・演出、舞台や照明、衣装のデザインなども手がける。ルネサンスからバロックに至る時代のダンス指導や普及にも積極的に取り組み、各地の高校・大学、NHK文化センター、朝日カルチャーセンター他にて講師を務める他、雑誌寄稿、論文執筆、ビデオ制作も行う。仙台には1995年以来毎年訪れている。文化経済学会(日本)会員。聖徳大学講師、東京芸術大学非常勤講師。



田原 さえ(ピアニスト)

Tahara Sae

仙台市出身。1978年、第22回全東北ピアノコンクール第1位及び文部大臣賞受賞。武蔵野音楽大学・同大学院を経て、90年ザルツブルグ・モーツアルテウム音楽大学修了、オーストリア政府芸術修士を取得。同大学ではピアノ室内楽及びドイツ歌曲の解釈と伴奏法を専攻し、88年にはザルツブルグにおいてG.スゼー氏のリサイタルでの伴奏者に抜擢される。

帰国後は仙台フィルなどオーケストラとの協演をはじめ、ソロ、室内楽、伴奏と幅広い演奏活動を行っている。2000年2月NHK-FM「FMリサイタル」に出演。平成14年度宮城県芸術選奨新人賞受賞。平成15年度には仙台市市民文化事業団主催による「Classic Live For You」のプロデュースも手掛けた。第2回、第3回仙台国際音楽コンクールではチャレンジジャズライヴで共演。また、「魅惑のバロックダンス」(3回シリーズ)や仙台バッハゼミナーを開催するなど、最近は仙台を中心に様々な音楽活動を展開している。

現在、昭和音楽大学及び尚絅学院大学女子短期大学部、常盤木学園高等学校にて後進の指導にあたっている。宮城県芸術協会、仙台バッハアカデミー、仙台日暮協会会員。